



Model 2218785 / 2218350

コールマン製品保証書

お客様	ふりがな ご芳名	様	TEL	()
	〒 ご住所			
取扱販売店	店名・住所・電話番号			
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 1年間			

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店、または当社が無料保証いたします。
- 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
(イ)本書のご提示がない場合。
(ロ)本書に、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の店印またはレシート、領収書がない場合、または字句を書き換えられた場合。
(ハ)使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障、損傷。
(ニ)お買い上げ後に、落とされた場合等による故障、損傷。
(ホ)火災、公害および地震、風水害、塩害その他天災地変など、外部に要因がある故障、損傷。
(ヘ)乾電池の損傷・消耗、内蔵電池の劣化・消耗し、取り換えを要する場合。
- 保証期間経過後の有料修理は、お客様のご希望により、お買い上げの販売店または当社にお問い合わせください。
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。

本書は、本書記載内容にそって無料修理をお約束するものです。
保証期間中に故障が発生した場合は、製品に本書を添え、お買い上げの販売店にご依頼ください。
お買い上げ年月日、販売店等記入もれがありますと無効になります。
必ずご確認ください、記入のない場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。
また、お買い上げいただいた時のレシート、領収書を下に添付して保管ください。
ご転居、ご贈答等でお買い上げの販売店に修理依頼できない場合は、最寄りのコールマン製品取扱店にご依頼ください。
本書は再発行いたしません。大切に保管してください。
製品保証書はコピーをせず、原紙に記載をしてお送りください。コピーされた保証書は無効となります。

修理 メモ

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル
コールマン問い合わせ先 0120-111-957

お買い上げレシート添付場所（お買い上げ年月日、販売店の証明がないと保証を受けられない場合がありますので、ご注意ください。）

NWL0001721051 (ECN0087322-A)



取り扱い説明書

2 MULTI PANEL LANTERN PLUS



2 MULTI PANEL LANTERN PLUS

■ 使用上の注意

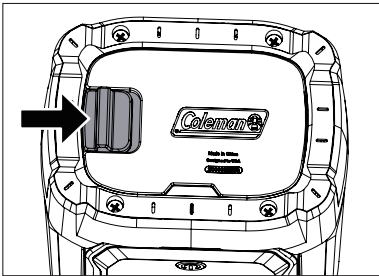
必ず、ご使用前に下記注意事項および、取り扱い説明書をよく読んでからご使用ください。
取扱いを誤るとケガや故障等、思わぬ事故になる可能性があります。

- 必ずアルカリ乾電池をご使用ください。
- 種類の違う電池や新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
電圧の違いから、液漏れや本体の損傷等、故障するおそれがあります。
- 使用後は、乾電池を取外して保管してください。乾電池を入れたまま放置すると液漏れ等をおこすおそれがあります。
- 連続点灯時間は光量の調節頻度や分割式パネルライトの充電状態、気温などの使用環境により変動します。
- 本製品を清掃する際は、固く絞った布で軽くふいてください。故障の原因となりますので、水をかけないでください。
- 乾電池は+、一極を間違えないで正しく入れてください。間違っていると液漏れや本体の損傷などをおこすおそれがあります。
- 分解、改造をしないでください。
- 商品に異常が発生した場合には、ただちに使用をやめてください。
- 落下や衝撃は故障の原因となりますのでご注意ください。
- 本製品は火気の近くや直射日光（室内や車内の窓際）の当たる場所等、40℃以上になる場所に放置しないでください。
熱で変形するおそれがあります。
- 小さなお子様の手の届かない所に保管してください。
- 取り外しできる分割式パネルライトは充電式電池を使用しており、本体にしっかりと差し込むことによって、本体の電源から充電されます。
- 使用しない場合でも半年に一度は本体に電池を入れ、パネルライトに充電を行ってください。
パネルライト内蔵の充電電池の過放電によるダメージを防ぐことができます。パネルライトが十分に充電された状態で保管してください。
- パネルライトは本体に下向きにしっかりと差し込んで使用してください。接続が不十分な場合はパネルライトが点灯せず充電もされません。
- 本体を持つ際には必ず上部のハンドルを持ってください。パネルライト部分などの側面を持つとパネルが分離して本体が落下し、ケガや故障など思わぬ事故につながる可能性があります。
- この製品はマグネットを使用しています。自動改札用の切符や定期券、キャッシュカード、携帯電話などをマグネットに近づけると、マグネットの影響で使用不能になることがあります。

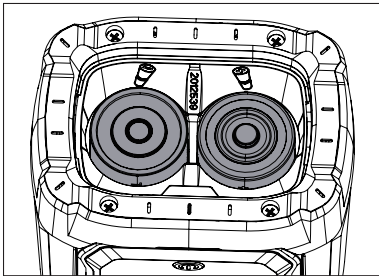
■ 電池の入れ方・交換方法

⚠ 注意

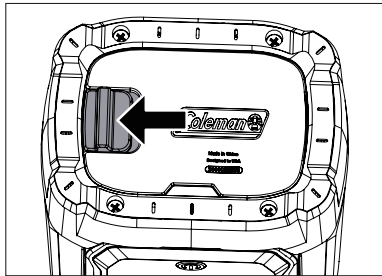
- このランタンは単一形アルカリ乾電池 4 本で使用できます。
それ以外の電池（マンガン電池や充電電池など）を使用すると故障の原因となる場合があります。必ずアルカリ電池を使用してください。
- 乾電池を入れる際は、必ず十極、一極を間違えないようにしてください。液漏れ、発熱等の原因となります。
- 種類の違う電池や新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。電圧の違いから故障の原因となります。



①ランタンをオフにした状態で本体をひっくり返し、底部のロックをスライドしてキャップを取り外します。



②4本の単一形乾電池をプラス極とマイナス極を本体の表示通りの向きで挿入します。必ず全ての電池の向きが正しくなるよう注意して電池を入れてください。

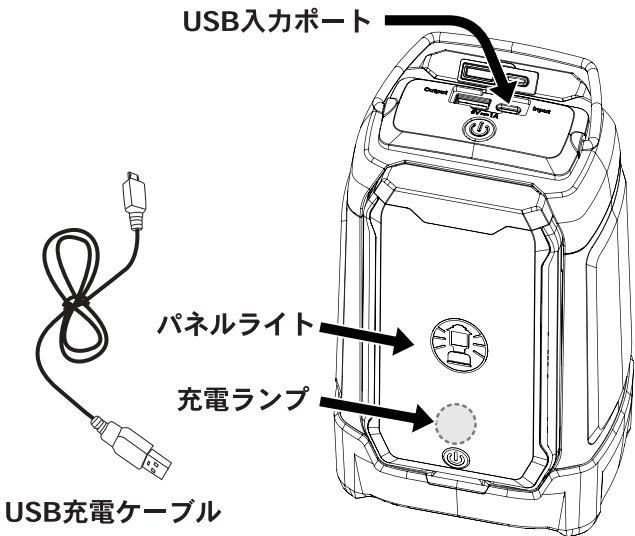


③底部のキャップを戻し、ロックをスライドして閉じます。パチッと音がするまでロックをスライドしてください。

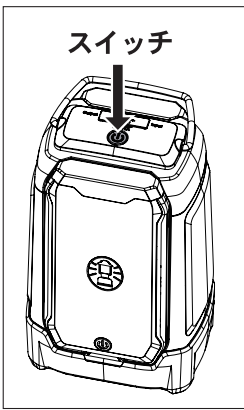
■ USB入力ポートについて

製品本体を電池を使用しないときや、電池残量がないときにモバイルバッテリー等を入力するためのUSB入力ポートがあります。製品本体を使用するかパネルライトを充電する際は、USB充電ケーブルの小さいコネクタをライトのUSB入力ポートに差し込み、大きいコネクタをUSBコンセントに差し込みます。

- パネルライトの充電ランプが赤色に点灯している場合は、バッテリーが充電中であることを意味します。
- 充電ランプの緑色に点灯している場合は、バッテリーが完全に充電されていることを意味します。
- 完全に充電されるまでの充電時間は、目安約5～6時間です。

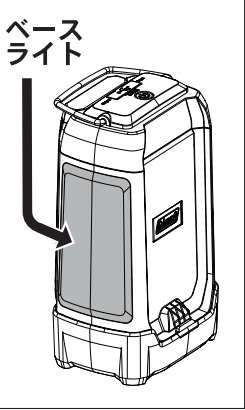


■ ランタンのモード変更



①ランタンを点灯するためには上部のONスイッチを押してください。取り外しできる2つの全てのエアライトと本体のベースライトが点灯し、360度周囲を照らします。

※光量の切り換えの際、最後に押したスイッチから5秒以上間隔が開いた場合、次にスイッチを押すとOFFになるように設計されています。OFFになった場合は再度スイッチを押して好みの光量に調節してください。



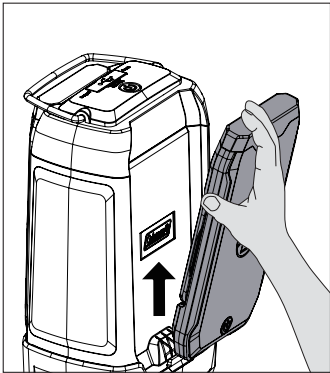
②ベースライトは、取り外しできるパネルライトが本体からすべて外された状態でも、独立したランタンとして使用可能です。ベースライトを「ON」にするには、上部のスイッチを押してください。全てのベースライトが辺りの照明として点灯します。

※1つまたは2つのパネルライトが取り外されたときは、残ったエアライトと本体のベースライトが同時に点灯します。

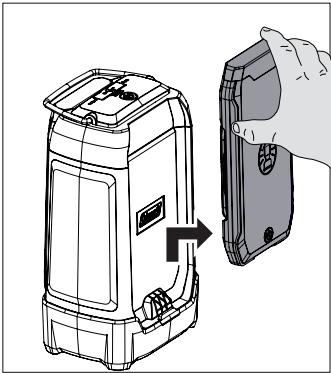
③明るさのモードを「Low、High、Off」と切り替えたいとき、またはランタンをオフにしたいときは、希望のモードになるまでスイッチを繰り返し何回か押してください。

■ 取り外しできるパネルライトの使用方法

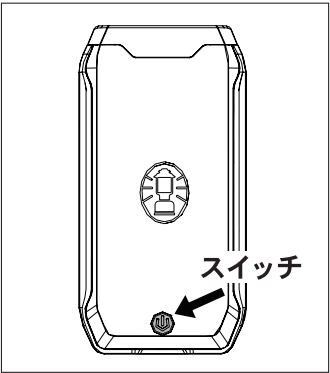
それぞれのパネルライトは、本体から取り外された後も独立した光源として使用できます。
本体に戻された時には、ランタンとして360度周囲を照らすと同時に、本体の電源から充電されます。



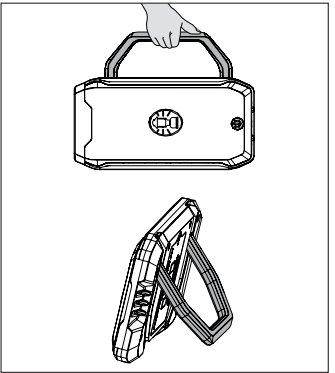
①パネルライトの両端をつかみ、本体に固定、充電されている状態から引き離します。



②パネルライトを上方に持ち上げながら外します。
※ランタンが点灯しているときは、残されたパネルライトは点灯し続けます。

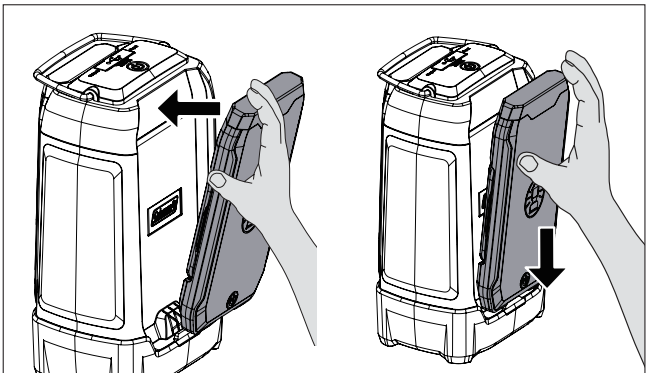


③パネルライト正面のスイッチを押すことで「Low、High、懐中電灯、OFF」のモード切替ができます。
※パネルライトを本体に戻すと、本体内部の乾電池或いはモバイルバッテリー等から再度充電が行われます。



④それぞれのパネルライトは、ハンドルの角度を変えることで懐中電灯モードになったり、スタンドとして平面に置くこともできるようにデザインされています。

■ パネルライトの本体への戻し方



磁石の力を利用して、取り外されたパネルライトを本体に戻します。

※パネルライト下部の接続部分が、本体の取り付け位置下部にあるスプリングにしっかりと嵌め込まれるように取り付けてください。パネルライトがうまく点灯しなかったり、充電が行われないおそれがあります。パネルライトがしっかりと本体の所定の位置に戻ると、パネルライトと本体のスイッチが連動して働くようになります。

■ 他の機器を充電する

⚠ 注意

製品本体に乾電池が入っている状態で、USB出力ポートを使用して他の機器を充電することができます。

- 出力は5V/1A以下の物に限られます。
- すべての電子機器がUSBポートから充電できるわけではありません。
- 電子機器をマグネットに近づけすぎるとマグネットの影響で使用不能になることがあります。
- 充電可能量は、充電される機器や本体の乾電池残量により変わります。
- 製品の仕様上、製品が正しく作動しなくなる可能性があるため、ランタン点灯中はUSBからの充電を推奨致しません。
- 電池残量が低下すると、点灯機能を優先する為、USBポートが使えなくなります。

